

## YOKOHAMA Station City で不用衣類の回収キャンペーン第10弾を実施

特典としてYOKOHAMA Station City内の施設で利用できるクーポンを進呈  
「SDGs 未来都市」横浜市の中心、横浜駅からSDGsに根差したエリア価値の向上を推進

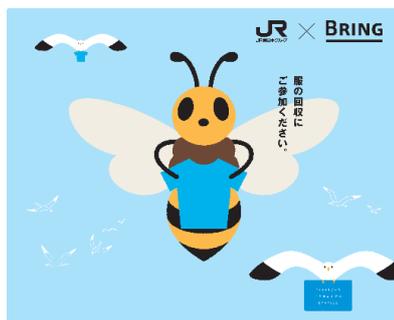
開催期間:2024年11月23日(土)・24日(日) 2日間

YOKOHAMA Station City 運営協議会(会長:東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 横浜支社長: 矢野 精一)は、2024年11月23日(土)・24日(日)の2日間、不用衣類を回収するキャンペーンを実施いたします。2020年度から本キャンペーンを実施しており、今回は10回目の開催となります。

このほかにも、YOKOHAMA Station Cityを巡るSDGsクイズラリーや、不用衣類回収キャンペーンイベントをはじめとしたYOKOHAMA Station Cityで開催される対象イベントに参加した方の中から抽選でJRE POINTが当たる企画も同時開催予定です。(詳しくは後日YOKOHAMA Station City公式HPにてお知らせいたします)

キャンペーンを通じて回収した不用衣類は、BRING(運営:株式会社JEPLAN)のサプライチェーンにて、分別をして、リユースや多様なリサイクル技術でリサイクルいたします。回収した不用衣類のうち、ポリエステル100%の衣類等は、市場の需要に応じて独自のケミカルリサイクル技術“BRING Technology™”を用いて再生ポリエステル原料にリサイクルし、再び新しい生地や衣類などに生まれ変わらせることに特徴があります。

JR東日本グループは、ESG経営を実践し、事業を通じて社会的な課題を解決することで、地域社会の発展と国際目標「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に取り組んでおります。YOKOHAMA Station Cityでは、このキャンペーンを通じてSDGsに根差したエリア価値の向上を推進するとともに、各企画を通じて多くのお客さまにエリアの魅力を感じていただきたいと考えております。



不用衣類の回収キャンペーン キービジュアル



不用衣類の回収キャンペーン 過去の様子

## 不用衣類の回収イベント開催概要

開催期間: 2024年11月23日(土)・24日(日)

クーポン利用期限: 2024年11月23日(土)～2025年1月19日(日)

回収場所: JR横浜タワー アトリウム2階(JR横浜駅西口)

回収時間: 各日とも12:00～16:00

概要 要: ご不用になった衣類を回収場所へお持ち込みいただくと、YOKOHAMA Station City 内の施設でご利用いただける「500円分のクーポン」を衣類1点につき1枚進呈します。クーポンは3,000名さま相当(お一人さま2枚配布想定)分を先着で配布いたします。お一人さま2着まで(クーポン最大2枚まで)。

※クーポン配布終了後も、回収時間内は不用衣類の回収を受付いたします。

クーポン利用条件: 対象施設にて、1会計につき税込3,000円以上で1枚、税込6,000円以上で2枚、1会計につき最大2枚までご利用可能です。

クーポン利用対象施設: ニュウマン横浜、シアル横浜、シアル横浜アネックス、JR東日本ホテルメッツ 横浜、ルミネ横浜、エキュートエディション横浜、ローソン・スリーエフ JR横浜タワー店

※一部、ご利用いただけない商品やサービスがございます。

※下記の店舗ではご利用いただけません(2024年10月時点、変更となる場合がございます)。

ニュウマン横浜(ティファニー、横浜 MK アイクリニック)

シアル横浜(NewDays、元祖油堂、つけめん TETSU)

ルミネ横浜(シャネル フレグランス&ビューティ、よこはま駅ビル眼科、朝日カルチャーセンター)

主催者: YOKOHAMA Station City 運営協議会

## YOKOHAMA Station City の「持続可能な開発目標(SDGs)」への貢献について

JR東日本グループは、ESG経営を実践し、事業を通じて社会的な課題を解決することで、地域社会の発展と国際目標「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に取り組みます。

具体的には、「安全」が経営のトッププライオリティであることをグループ共通の理念として掲げ、すべての事業の基盤であるステークホルダーの皆さまからの「信頼」を高めるとともに、「ヒト(すべての人)の生活における『豊かさ』を起点とした社会への新たな価値の提供」に向け日々の挑戦を続けていくことで、「持続可能な社会」とグループの持続的な成長を実現していきます。

YOKOHAMA Station City は、SDGs に根差した活動を通じて、新しい価値の提供とエリア価値の向上に取り組んでいます。なお、この度の取り組みは、SDGs における下記3つの目標に貢献しています。



目標 9 強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る

目標 11 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする

目標 12 持続可能な消費と生産のパターンを確保する



JR東日本グループのSDGsの達成に向けた詳細: <https://www.jreast.co.jp/company/csr/>

## 「YOKOHAMA Station City 運営協議会」について

会長: 矢野 精一(東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 横浜支社長)

住所: 神奈川県横浜市西区平沼 1-40-26

URL: <https://yokohamastationcity.com/>

「YOKOHAMA Station City」の誕生に併せて発足した、JR 東日本グループ 10 社から成る JR 横浜駅のタウンマネジメント組織です。「YOKOHAMA Station City」に関する情報発信・PR をはじめ、JR 横浜タワー内のアトリウムや屋上広場「うみそらデッキ」、JR 横浜駅南改札内「SOUTH COURT」といったイベントスペースのトータル管理・運営などを通じて、JR 東日本グループ一体となって JR 横浜駅のイメージ向上および、駅周辺エリアの活性化に取り組んでいます。

### 【エリア内 JR 東日本グループの施設】



①ルミネ横浜

②JR 横浜駅(エキュートエディション横浜、駅構内店舗)

③JR 横浜タワー(ニューマン横浜、シアル横浜、STATION SWITCH)

④JR 横浜鶴屋町ビル(シアル横浜アネックス、JR 東日本ホテルメッツ 横浜、  
ジェクサー・フィットネス&スパ 24 横浜)

### 【会 員】

東日本旅客鉄道(株)、(株)ルミネ、(株)JR 横浜湘南シティクリエイイト、(株)JR東日本ビルディング、日本ホテル(株)、(株)JR 東日本クロスステーション、JR 東日本スポーツ(株)、(株)ジェイアール東日本企画、(株)JR 東日本スマートロジスティクス、(株)ジェイアール東日本物流(計 10 社) ※ 2024 年 10 月 31 日時点

## 「株式会社 JEPLAN」について

代表取締役執行役員社長: 高尾 正樹

住所 : 神奈川県川崎市川崎区扇町 12-2

URL : <https://www.jeplan.co.jp>

JR 東日本スタートアップ株式会社が主催する JR 東日本スタートアッププログラムにおける支援を進める企業であり、BRING™ 製品の製造・販売・服の回収・リサイクル、企業と連携したあらゆるものを循環させるプロジェクトの企画・運営、PET ケミカルリサイクル技術関連事業を行っています。

※JR 東日本スタートアップ株式会社・・・2018 年 2 月設立。オープンイノベーションによる共創活動を加速するため、ベンチャー企業に対する出資および協業推進を行っています。

※「JR東日本スタートアッププログラム」・・・ベンチャー企業や様々なアイデアを有する方々から、駅や鉄道、グループ事業の経営資源や情報資産を活用したビジネス・サービスの提案を募り、ブラッシュアップを経て実現していくプログラム。

## 「BRING™」について

BRING は、消費者や企業・自治体と協力をして不用になった服や使用済みのペットボトル等を回収し、リユースや多様なリサイクル技術で原料や新しい製品等に再生し、市場や消費者の手元にまで循環させ、その循環を軸とした様々なビジネスを展開することで、サーキュラーエコノミーを社会に実装しています。さらに、独自の技術を用いて、不用な衣類(ポリエステル対象)や使用済みペットボトルから何度も循環する再生素材を製造することで、持続可能な循環型社会の実現に貢献しています。

